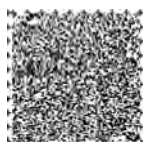


1-7 意思疎通

まとめ

- 身体障害のかたで意思疎通に困難を感じているのは1割強。
- 日常的に使う意思疎通の手段・支援者としては家族が多く、次いで携帯・スマホ・パソコン等となっているが、聴覚障害のかたは筆談が最も多い。
- 視覚障害のかたのうち、点字を読めるかたは2割程度、8割程度は読めないという結果。
- 点字を読めないことの不便さとしては、点字が読めない人のためのサービスが少ないことがあげられた。
- 聴覚障害のかたのうち、手話ができるかたは3割強、5割強はできないという結果。
- 手話ができないことの不便さとしては、手話ができないひとのためのサービスが少ないこと、情報が入ってくるのが遅いこと、コミュニケーションが難しいことがあげられた。



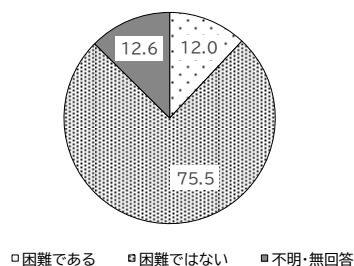
問 日常生活において、意思疎通が困難と感じていますか。

調査対象： 身体

○1,161 件のうち、「困難ではない」が 75.5%、「困難である」が 12.0%となっています。
(%)

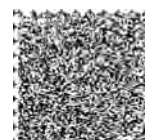
N =

1161



―クロス集計―（日常生活における意思疎通×手帳等級）

			全 体	日常生活における意思疎通		
				困難である	困難ではない	不明・無回答
手 帳 等 級	身体障害手帳1級	件 %	346 100.0	45 13.0	275 79.5	26 7.5
	身体障害手帳2級	件 %	188 100.0	42 22.3	130 69.1	16 8.5
	身体障害手帳3級	件 %	132 100.0	13 9.8	103 78.0	16 12.1
	身体障害手帳4級	件 %	208 100.0	12 5.8	176 84.6	20 9.6
	身体障害手帳5級	件 %	57 100.0	3 5.3	51 89.5	3 5.3
	身体障害手帳6級	件 %	51 100.0	5 9.8	42 82.4	4 7.8
	身体障害手帳7級	件 %	1 100.0	-	1 100.0	-
	愛の手帳1度	件 %	-	-	-	-
	愛の手帳2度	件 %	2 100.0	-	2 100.0	-
	愛の手帳3度	件 %	-	-	-	-
	愛の手帳4度	件 %	2 100.0	-	2 100.0	-
	愛の手帳その他	件 %	-	-	-	-
	精神障害者保健福祉手帳1級	件 %	-	-	-	-
	精神障害者保健福祉手帳2級	件 %	4 100.0	-	4 100.0	-
	精神障害者保健福祉手帳3級	件 %	-	-	-	-



問 日常的に使っている意思疎通の手段は何ですか。また、支援しているのは誰ですか。
(複数回答可)

調査対象： 身体

○前問で「困難である」と回答した 139 件のうち、「家族」が 52.5%と最も多く、次いで「携帯・スマホ」が 38.8%となっています。

		全 体	意思疎通の手段・支援者						
			特になし	携帯・スマホ	パソコン	ポータブルレコーダー	会話補助装置	意思伝達装置	
全 体		件	139	20	54	23	2	3	3
		%	100.0	14.4	38.8	16.5	1.4	2.2	2.2
調 査 票 種 別	身体(計)	件	139	20	54	23	2	3	3
		%	100.0	14.4	38.8	16.5	1.4	2.2	2.2
	視覚障害	件	10	1	3	3	2	-	-
		%	100.0	10.0	30.0	30.0	20.0	-	-
	聴覚障害	件	39	-	25	11	-	2	-
		%	100.0	-	64.1	28.2	-	5.1	-
	平衡機能障害	件	6	2	1	-	-	-	1
		%	100.0	33.3	16.7	-	-	-	16.7
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	9	-	1	1	-	-	1
		%	100.0	-	11.1	11.1	-	-	11.1
	肢体不自由	件	68	17	15	8	-	1	2
		%	100.0	25.0	22.1	11.8	-	1.5	2.9
内部障害	件	10	-	3	-	-	-	-	
	%	100.0	-	30.0	-	-	-	-	

【下表へ続く】

			全 体	意思疎通の手段・支援者					
				FAX	筆談	点字	イラスト	口話	手話
全 体			件 139	6	39	3	6	22	16
			100.0	4.3	28.1	2.2	4.3	15.8	11.5
調 査 票 種 別	身体(計)	件	139	6	39	3	6	22	16
		%	100.0	4.3	28.1	2.2	4.3	15.8	11.5
	視覚障害	件	10	-	-	3	-	1	-
		%	100.0	-	-	30.0	-	10.0	-
	聴覚障害	件	39	4	28	-	2	13	15
		%	100.0	10.3	71.8	-	5.1	33.3	38.5
	平衡機能障害	件	6	-	-	-	-	4	-
		%	100.0	-	-	-	-	66.7	-
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	9	-	2	-	-	3	-
		%	100.0	-	22.2	-	-	33.3	-
肢体不自由	件	68	1	5	-	4	3	-	
	%	100.0	1.5	7.4	-	5.9	4.4	1.5	
内部障害	件	10	-	-	-	-	2	-	
	%	100.0	-	-	-	-	20.0	-	

【次ページへ続く】



【前ページから続く】

		全 体	意思疎通の手段・支援者					
			指文字	指点字	ジェスチャー	SNS	家族	友人・知人
全 体	件	139	8	1	26	6	73	16
	%	100.0	5.8	0.7	18.7	4.3	52.5	11.5
調 査 票 種 別	身体(計)	件	139	8	1	26	6	73
		%	100.0	5.8	0.7	18.7	4.3	52.5
	視覚障害	件	10	-	-	-	-	5
		%	100.0	-	-	-	-	50.0
	聴覚障害	件	39	8	1	11	4	19
		%	100.0	20.5	2.6	28.2	10.3	48.7
	平衡機能障害	件	6	-	-	-	-	3
		%	100.0	-	-	-	-	50.0
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	9	-	-	2	-	6
		%	100.0	-	-	22.2	-	66.7
	肢体不自由	件	68	-	-	9	2	39
		%	100.0	-	-	13.2	2.9	57.4
	内部障害	件	10	-	-	-	-	5
		%	100.0	-	-	-	-	50.0

【下表へ続く】

		全 体	意思疎通の手段・支援者					
			ガイドヘルパー	手話通訳者	失語症意思疎通支援者	ボランティア	その他	不明・無回答
全 体	件	139	3	9	6	2	11	5
	%	100.0	2.2	6.5	4.3	1.4	7.9	3.6
調 査 票 種 別	身体(計)	件	139	3	9	6	2	11
		%	100.0	2.2	6.5	4.3	1.4	7.9
	視覚障害	件	10	2	-	1	1	1
		%	100.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0
	聴覚障害	件	39	-	9	1	-	3
		%	100.0	-	23.1	2.6	-	7.7
	平衡機能障害	件	6	-	-	-	-	1
		%	100.0	-	-	-	-	16.7
	音声・言語・そしゃく機能の障害	件	9	-	-	-	-	2
		%	100.0	-	-	-	-	22.2
	肢体不自由	件	68	-	-	2	1	7
		%	100.0	-	-	2.9	1.5	10.3
	内部障害	件	10	-	-	-	-	3
		%	100.0	-	-	-	-	30.0

※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。

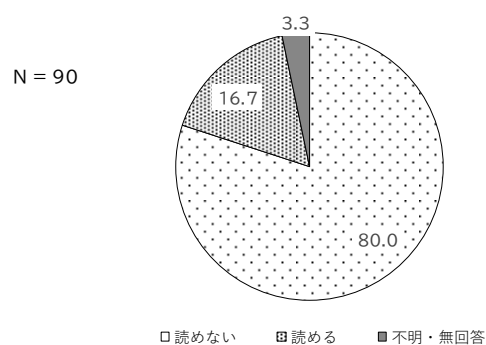


問 あなたは、点字が読めますか。

調査対象： 身体

○視覚障害者手帳を所持していると回答した 90 件のうち、「読めない」が 80.0%、「読める」が 16.7%となっています。

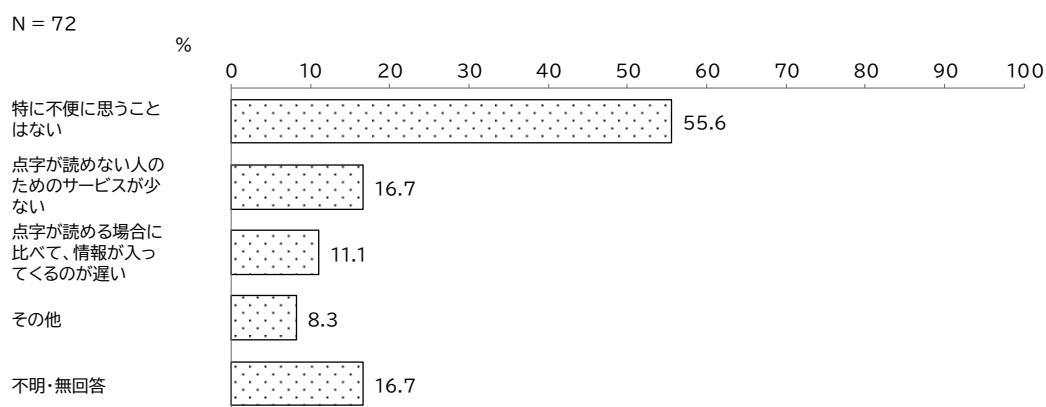
(%)



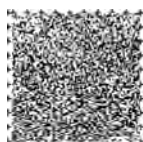
問 点字が読めないことで、不便に思うことはありますか。(複数回答可)

調査対象： 身体

○前問で「読めない」と回答した 72 件のうち、「不明・無回答」を別にするると「特に不便に思うことはない」が 55.6%と最も多く、次いで「点字が読めない人のためのサービスが少ない」が 16.7%となっています。



※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。

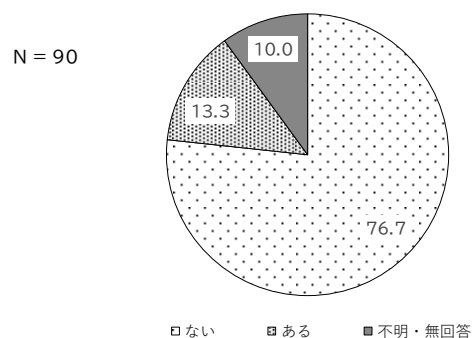


問 あなたは、音声コード（ユニボイス等）を利用したことがありますか。

調査対象： 身体

○視覚障害者手帳を所持していると回答した 90 件のうち、「ない」が 76.7%、「ある」が 13.3%となっています。

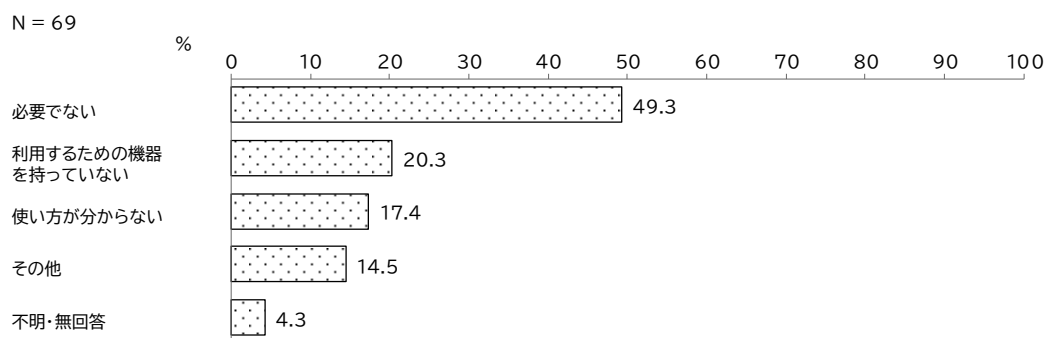
(%)



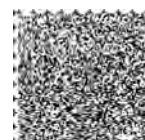
問 音声コードを利用しない理由は、次のうちどれですか。

調査対象： 身体

○前問で「ない」と回答した 69 件のうち、「必要でない」が 49.3%と最も多く、次いで「利用するための機器を持っていない」が 20.3%となっています。



※複数回答可として扱ったため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。

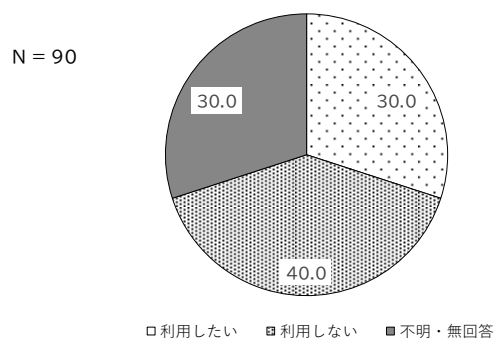


問 音声コードを今後利用したいですか。

調査対象： 身体

○視覚障害者手帳を所持していると回答した 90 件のうち、「利用しない」が 40.0%、「利用したい」が 30.0%となっています。

(%)

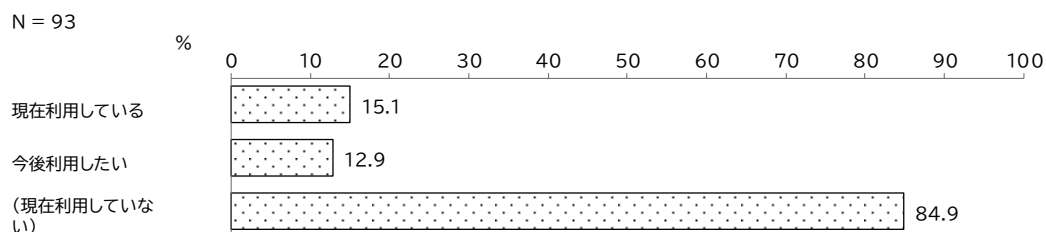


問 手話通訳者派遣、要約筆記者派遣のうち、あなたが現在利用している、あるいは今後利用したいサービスはありますか。(複数回答可)

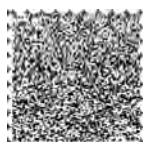
調査対象： 身体

①手話通訳者派遣

○聴覚障害者手帳を所持していると回答した 93 件のうち、「現在利用している」が 15.1%、「今後利用したい」が 12.9%となっています。

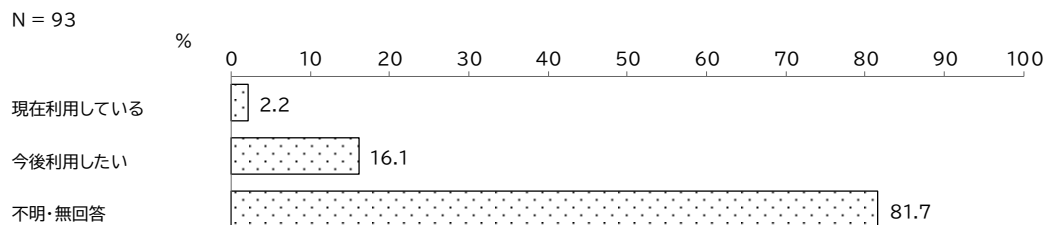


※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。



②要約筆記者派遣

○聴覚障害者手帳を所持していると回答した 93 件のうち、「現在利用している」が 2.2%、「今後利用したい」が 16.1%となっています。

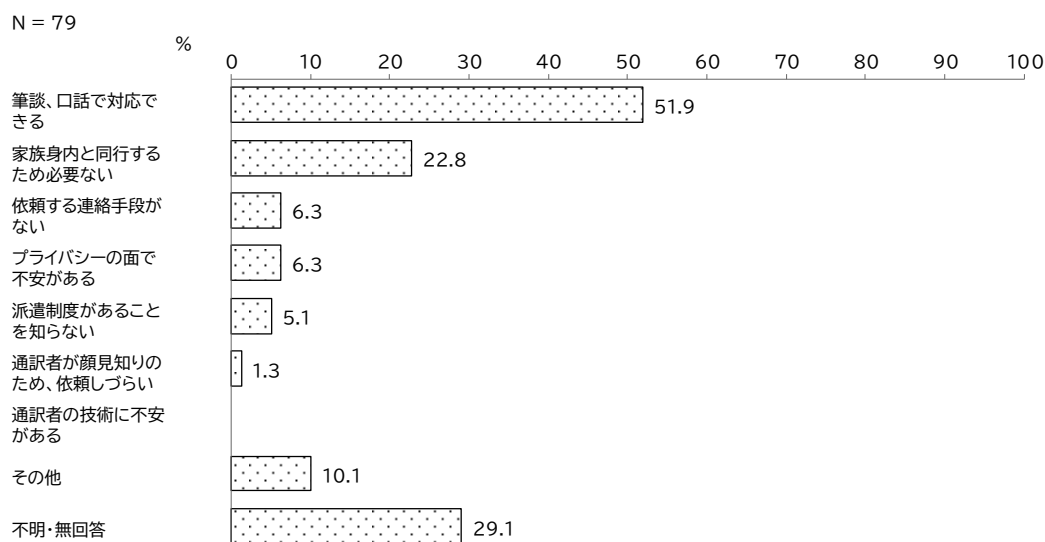


※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。

問 手話通訳者派遣を現在利用していない理由は、次のうちどれですか。(複数回答可)

調査対象： 身体

○現在利用していない 79 件のうち、「筆談、口語で対応できる」が 51.9%と最も多く、次いで「家族身内と同行するため必要ない」が 22.8%となっています。



※複数回答形式の設問のため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。

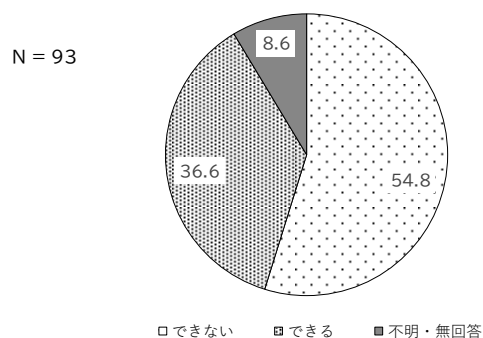


問 あなたは、手話ができますか。

調査対象： 身体

○聴覚障害者手帳を所持していると回答した 93 件のうち、「できない」が 54.8%、「できる」が 36.6%となっています。

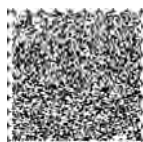
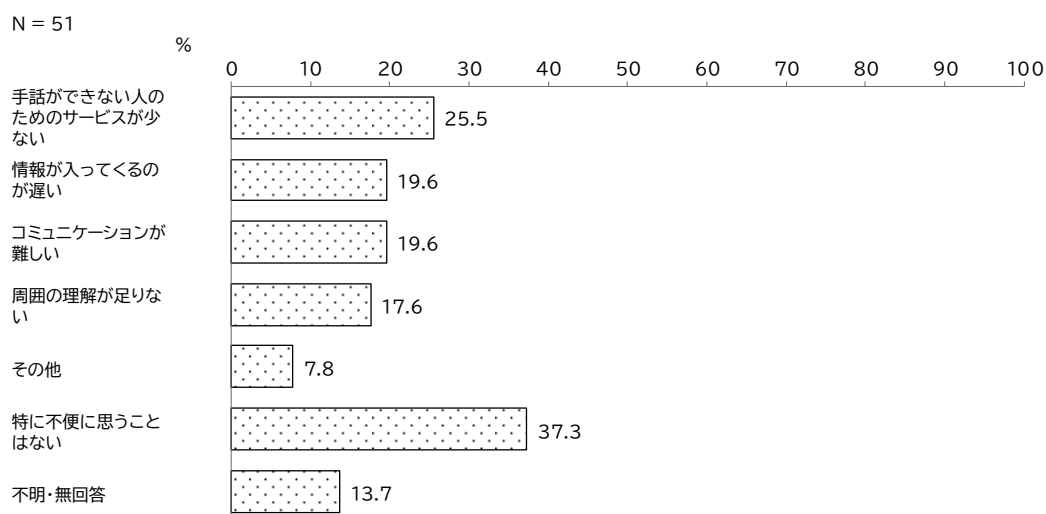
(%)



問 手話ができないことで、不便に思うことはありますか。

調査対象： 身体

○前問で「できない」と回答した 51 件のうち、「特に不便に思うことはない」が 37.3%と最も多く、次いで「手話ができない人のためのサービスが少ない」が 25.5%となっています。

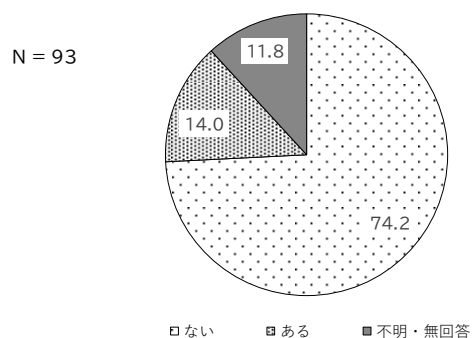


問 あなたは、電話リレーサービスを利用したことがありますか。

調査対象： 身体

○聴覚障害者手帳を所持していると回答した 93 件のうち、「ない」が 74.2%、「ある」が 14.0%となっています。

(%)



ークロス集計ー（電話リレーサービスの利用経験×年齢）

<身体障害>

			全 体	電話リレーサービスの利用経験		
				ない	ある	不明・無回答
年 齢	0～17歳	件	-	-	-	-
		%	-	-	-	-
	18～29歳	件	7	5	2	-
		%	100.0	71.4	28.6	-
	30～39歳	件	10	8	2	-
		%	100.0	80.0	20.0	-
	40～49歳	件	14	8	6	-
		%	100.0	57.1	42.9	-
	50～59歳	件	12	7	2	3
		%	100.0	58.3	16.7	25.0
	60～69歳	件	18	15	1	2
		%	100.0	83.3	5.6	11.1
	70～79歳	件	11	10	-	1
		%	100.0	90.9	-	9.1
	80歳以上	件	20	15	-	5
		%	100.0	75.0	-	25.0



ークロス集計―（電話リレーサービスの利用経験×手話の使用）

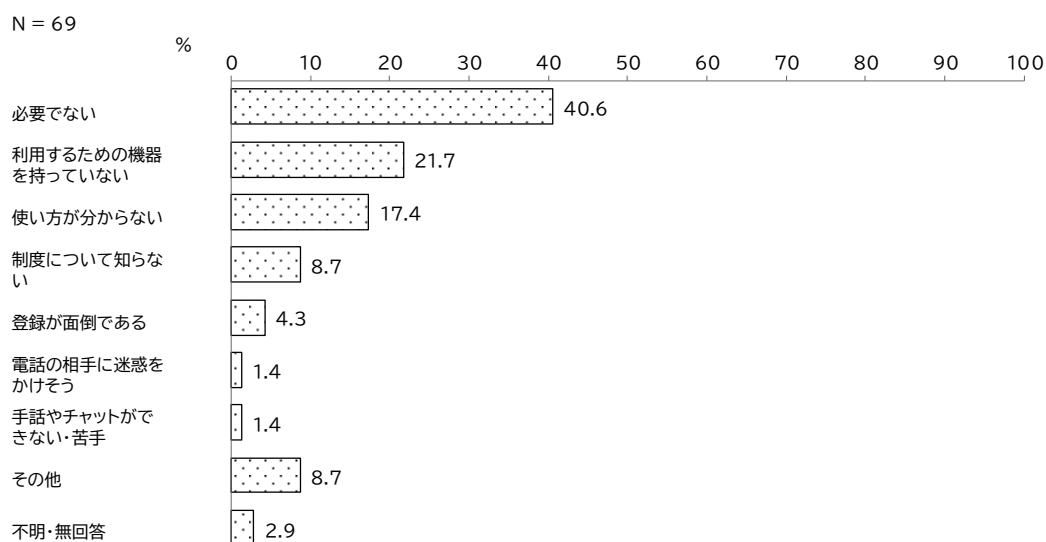
<身体障害>

			全 体	電話リレーサービスの利用経験		
				ない	ある	不明・無回答
手話の使用	できない	件	51	46	1	4
		%	100.0	90.2	2.0	7.8
	できる	件	34	21	12	1
		%	100.0	61.8	35.3	2.9

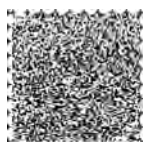
問 電話リレーサービスを利用しない理由は、次のうちどれですか。

調査対象： 身体

○前問で「ない」と回答した 69 件のうち、「必要でない」が 40.6%と最も多く、次いで「利用するための機器を持っていない」が 21.7%となっています。



※複数回答可として扱ったため、各選択肢の回答比率の合計は 100%を超える値となります。



問 電話リレーサービスを今後利用したいですか。

調査対象： 身体

○前々問で「ない」と回答した 69 件のうち、「利用したい」が 29.0%、「利用しない」が 60.9%
となっています。

(%)

N = 69

